

精密工学会秋季大会学術講演会報告書

修士2年 松下 真

私は9月14～16日に九州工業大学戸畑キャンパスにて開催された、精密工学会主催の「2012年度秋季大会学術講演会」に参加させていただきました。今回の学会発表にあたって、発表準備から当日の発表、また他者の発表から多くのことを学ぶことができました。

今回会場であった九州工業大学の戸畑キャンパスは市の中心部から電車で5分程度の場所にあり、自然が多く、静かな場所だと印象を受けました。節電の影響なのか校舎内は非常に蒸し暑く感じました。

まず、発表準備に関して振り返ると、講演論文から発表用のパワーポイントに至るまですべてにおいて準備が遅く、先生方にはご迷惑をおかけしてしまいました。講演論文の作成に関しては、論理的にまとめること、パワーポイントではストーリーを組み立てることに苦勞しました。

当日の発表では初めての学会参加ということもあり、「緊張してしまい失敗をしないか、内容を忘れてしまわないか」など不安な状態で登壇しました。発表自体は大きなミスをせず練習通りに終えることができました。質疑応答では、研究室内部の発表にはないご指摘をいただき、今後、研究を遂行するにあたって参考になることばかりでした。

自分の発表が終わり落ち着いて他者の発表を聞いてみると、自分のレベルの低さが恥ずかしくなりました。一つは、私はミスをしないように発表することが精一杯だったのに対し、他者は「ミスをしないことは当たり前、どれだけわかりやすく発表するか」というスタイルで、聴く人たちを魅了するプレゼンでした。もう一つは、圧倒的なデータ量の差です。私は発表内容に制限があったとしても、15分の与えられた時間を消化することに苦勞してしまいました。また、質疑応答の際も質問に応じたスライドを用意しているなど、良い意味で用意周到な点に尊敬しました。

今回の学会を通して研究内容だけでなく、研究に対する姿勢など根本的なことで得るものが多かったと振り返ることができます。

最後になりますが、本学会に参加するにあたり、御多忙にも関わらず、熱心な御指導や様々な御助言を頂いた森田先生、比田井先生、松坂先生に厚く御礼申し上げます。また準備に協力して頂いた5分野の学生の皆様にも感謝の意を示したいと思います。

